

## **住まいと健康 フォーラムニュース**

発行者：住まいと健康フォーラム事務局 第78号

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 国立保健医療科学院 2018.5.15.

TEL 048-458-6249 FAX 048-458-6253

### **2018年『住まいと健康フォーラム』 総会及び全国フォーラム開催のお知らせ**

**日時** 2018年6月22日（金）

**総会** 午後1時30分～2時

**全国フォーラム** 午後2時～5時

**場所** 国立保健医療科学院

（埼玉県和光市南2-3-6）

**テーマ** 加湿の必要性と安全対策（仮題）

建築物に居住、勤務する者にとって、室内の相対湿度が一定の範囲に維持されていることは快適性ととも、健康確保のためにも重要です。

冬期の室内における相対湿度の確保は、インフルエンザの予防のために重要ですが、逆に高すぎる湿度は、断熱性の悪い壁面などの結露によって、カビが発生することも問題とされます。

また湿度の確保のために設置された加湿器の管理が悪く、感染症を招いた例も報告されています。

今年の全国フォーラムでは、相対湿度が健康に与える影響、湿度管理のための加湿器の現状、加湿器が原因となった感染症などの報告を受け、加湿の必要性とリスクについて議論します。

ご参加をお持ちしております。

### **2017年『鹿児島フォーラム』報告**

2017年11月1日（水）に、住まいと健康フォーラム 鹿児島フォーラムが、かごしま県民交流センター東棟4階小会議室で開催されました。

テーマは「熊本地震における御船町仮設住宅入居者への居住支援」で、熊本県御船町福祉課地域包括支援センターの保健師 竹口佳那さんから、話題提供をいただき、会場で議論を行いました。以下、話題提供の内容を、簡単に報告します

「まず、御船町の概要をお話します。

位置としては、熊本県中央のやや北に位置し、熊本地震で有名になった益城町が隣接しています。熊本市のベッドタウンとして機能しており、平坦地ですが、半分は山間部というところですよ。

平成 29 年 4 月 1 日現在で人口は 17225 人、うち 65 歳以上の高齢者は 5628 人で高齢化率 32.6%です。なお全国は 27.3%、熊本県は 29.5%です。

要介護認定者は 1016 人で、認定率は平成 28 年に 16.9%でしたが、平成 29 年は 18.0%と増加しました。震災の影響もあるのかと思います。

ちなみに、日本で初めて肉食恐竜の化石が見つかったところですよ。恐竜の郷をうたっていて、恐竜博物館で化石の発掘体験ができます。

さて熊本地震ですが、平成 28 年 4 月 14 日 21:26 に前震が発生しました。この時の御船町の震度は 5 強でした。最大震度は益城町の 7 でした。続いて 4 月 15 日 0:03 に余震が発生し、これも 御船町の震度は 5 強でした。最大震度は宇城市の 6 強でした。

そして本震が発生したのが、4 月 16 日 1:25 で御船町の震度は 6 弱でした。最大震度は益城町の 7 でした。

ただし、御船町の震度計は役場の付近に設置されていて、比較的被害の少ない地域でした。震源地は益城町と御船町の境だったことなどを考えますと、実際の御船町の震度は 6 以上だったと推測されます。

御船町の被害状況ですが、死者は 9 名。うち 1 名は圧迫死で、他 8 名は関連死でした。

住宅の被害は全壊 443 戸、大規模半壊 420 戸、半壊 1896 戸で、半壊以上の被害が 2759 戸でした。町内半分の届出ですが、実際には届け出ていない世帯もあり、実際はこれ以上の被害でした。なお一部損壊は 2050 戸でした。

現在でも、町営住宅の 108 戸に避難指示がでていて、現在も仮設住宅に入居中です。

避難の状況は 4 月 17 日が避難所のピークで 42 カ所、6191 名でした。ただし車での避難が多く、公園や商業施設の駐車場での車中泊が非常に多かったため、実際の避難者数はこの数字よりかなり大きいと思われます。

車の避難が多かったのは日常的に車を使っていること、夜間の地震だったため、家族単位の避難だったことがあげられます。また、町の指定避難所より、近くの公民館などに避難する人が多い状況でした。

避難所は、5 月末に旧小学校区 10 地域に集約され、10 月 31 日に全避難所が閉鎖されました。

様々な団体に、ご支援をいただきました。TMAT（徳洲会災害医療救援隊）には救護所の開設や避難所の巡回、衛生環境の整備などの支援をいただきました。

DMAT（災害派遣医療チーム）は益城町に入りましたが、御船町には入りませんでした。JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関係団体協議会）が、わが国初のチームでの支援を提供しました。視力低下の方への対応など障がい者への対応もいただきました。そのほか、県外から保健師、栄養士、事務など多くの方を派遣していただきました。

た。各チームは朝夕のミーティングで情報の共有を行いました。

避難所での支援の実際について紹介します。

まず、福祉避難所です。小学校の体育館などの一般の避難所に対応していた職員から、介護の必要な人がいるという情報が寄せられ、4月19日に観光交流センターの施設を利用して、福祉避難所を立ち上げました。実際には介護が必要な人は福祉施設へ避難したため、それほど介護が必要ない人が対象となりました。J R A Tが転倒・生活不活発病予防への対応として手すりや通路確保などの環境整備やレクリエーションなどを行いました。感染症予防の観点から、歯科医師が口腔ケアを実施しました。全体として肺炎の予防に努めました。

次に地域での支援です。

地震後徐々に介護予防事業を再開しました。7月5日から10カ所で一般介護予防事業「元気クラブ」を再開しました。

地域サロン活動は、早期に多くの地域が「こんな時こそ集まろう」と自主的に再開していました。日常の活動より回数を増やしたりする地域もありました。介護予防サポーターの活躍がありました。

その後、避難所から仮設住宅への移行期を迎え、J R A Tの撤退を見据えて、熊本県が熊本県医師会に委託して、熊本県復興リハビリテーションセンターが開設されました。応急仮設住宅の集会所等において、介護保険の認定を受けていない高齢者や要支援認定の高齢者を対象に、被災地域からの要望に応じて専門職の人材を派遣しました。

仮設住宅への移行に当たり、熊本県復興リハビリテーションセンター、地域リハビリテーション広域支援センター、町の健康づくり支援課及び地域包括支援センターで集まり、今後の支援方法、仮設住宅の問題点や支援方法を話し合いました。

仮設住宅の設置状況は、21団地425住宅が設置されました。町所有の土地が少なかったことや被害状況などから、規模の小さい団地が何か所もつくられました。また20戸以上の住宅がある団地(21団地中11カ所)には、集会所としてみんなの家を県が設置しています。みなし仮設住宅は町外のアパートを借りている例が多く見られました。

応急仮設住宅は、高齢者や障がい者が生活するうえで、構造的な問題が多数想定されました。改修が必要な場合、住宅引き渡しから2週間以内に県へ申請が必要になります。

短期間に、本人が今後の生活を予想して申請しなくてはならない困難があり、復興リハビリテーションセンターの専門職の協力を得て、リスクの高い人を訪問し改善の提案をしました。初期改修の訪問対象は、介護保険サービスを利用している者あるいは認定された者、身体障害者手帳、療育手帳を所持している者、総合事業対象者などでした。

改修内容として、手すりの取り付け、部屋内部の手すりの付け替え、玄関引戸の取手の取り付け、物干し金具位置の調整でした。

仮設団地の入居が開始された6月下旬以降、生活不活発病の多発や住民同士の助け合いの希薄化が懸念されました。

7月末に集会所「みんなの家」が建設され、入居者より高齢者のことを心配する声为上

がり、仮設団地のなかで何かすべきという機運が高まりました。

8月上旬、近隣の民生委員の協力を得ながら、順次仮設団地サロンの立ち上げを行い、9か所 12 仮設団地でサロンが形成されました。対象は仮設住宅入居者に限らず、周辺の方の参加も歓迎しました。

仮設団地サロンは新たなコミュニティの形成につながり、そのために農園なども作り交流が図られました。

現在とこれからの話ですが、仮設団地建設から 1 年 4 か月が経過し、再建して仮設住宅を退去する人がいる一方で、未だ見通しのつかない世帯もあり、再建能力による格差が始めています。

力のある人から自宅に帰っていき、支援の必要な人ばかりが、仮設住宅に残されることが懸念されています。

また災害公営住宅が町内に建設予定ですが、そこに支援の必要な人の多くが移ることも予測されます。

これらの懸念に対する対策が急務となっています。

この後、若干の質疑応答を行いました。

Q1：3.11（東日本大震災）では住まい方のパンフレットを作成し配布したが・・・。

A1：パンフレットは作成していませんが、支え合いセンターの職員が訪問し、取説を入れた冊子を作りそれを見ながら使い方の説明をしました。

Q2：みんなの家がないところの活動は？

A2：近くの老人ホームのサロンの活用（送迎付き）、地域のサロンの活用、外でイベントをするなどの工夫をしました。

Q3：震災直後のコントロールセンターは機能したか

A3：バタバタしていたので、機能したとは言えませんでした。益城町に圏域の支援が集中していました。

#### 事務局より

・フォーラムニュースのバックナンバーは、「住まいと健康」ホームページに掲載していません。ホームページアドレスは下記の通りです。

<http://hwm3.wh.qit.ne.jp/go-sumai>

#### 事務局

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

国立保健医療科学院 阪東美智子

TEL 048-458-6249 FAX 048-458-6253

事務局不在のときが多いので、ご連絡はFAXをお願いします。